

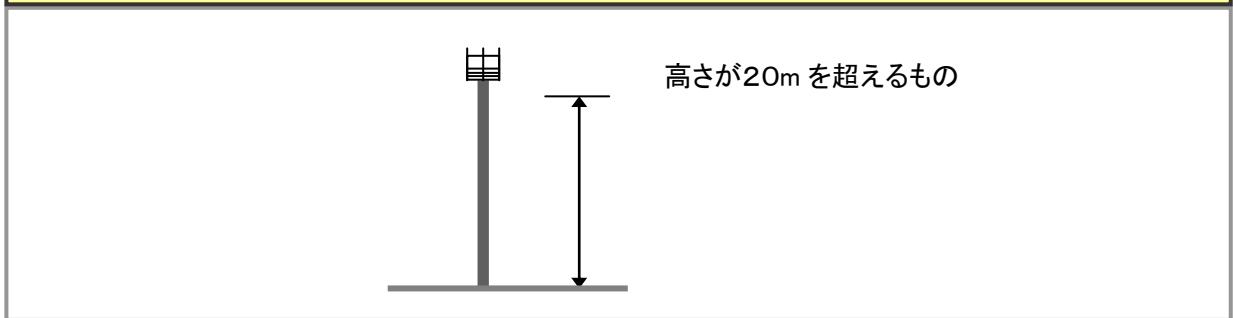
## 携帯電話用鉄塔の新設等に係る景観配慮について

市内において、高さが20mを超える鉄塔を新設する場合は、景観法に基づく届出をさせていただき、「千葉市景観計画」における景観形成基準により、協議を進めております。

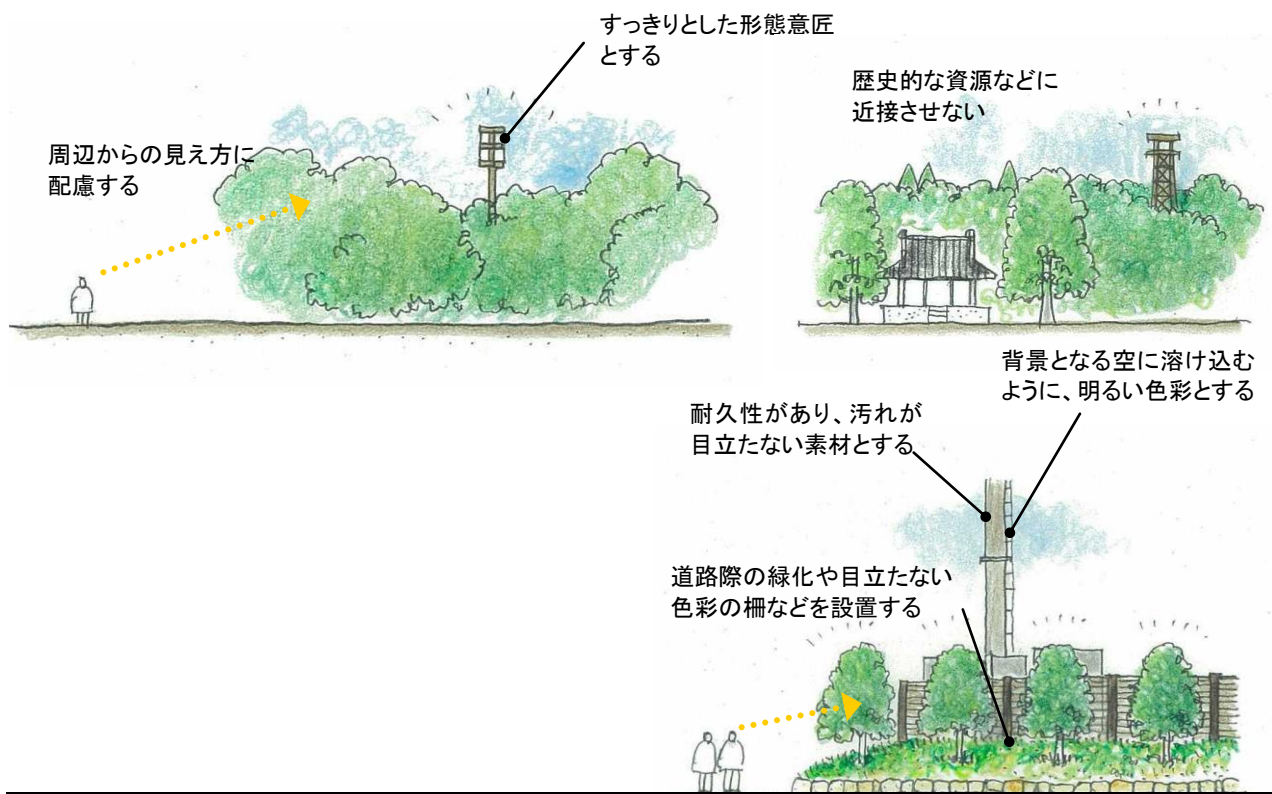
この指針により、これまで助言・指導してきた内容の詳細を「景観配慮事項」としてまとめましたので、計画を進める際には、なるべく早い段階から、市と協議していただくとともに、これらの事項を踏まえ、良好な景観形成に努めてください。

### ■市全域(景観形成推進地区以外の区域)における届出対象行為

#### 工作物の新設、増築、改築、移転、外観に係る修繕若しくは模様替又は外観の色彩の変更



### ■景観形成基準(工作物)



## □ 景観配慮事項

### 1. 共同化について

同じ地点からいくつもの鉄塔が見えることのないように、他事業者の鉄塔との共同化について検討してください。やむを得ず、新設する場合は、将来、他事業者からの要請に応じられるよう、あらかじめ、共同化の対応が可能な構造とするよう配慮してください。



同じ地点から、2本の鉄塔が見える。

### 2. 設置位置について

設置場所の選定にあたっては極力、周囲から見えにくい位置を選定するよう心がけてください。



高木に囲まれ、比較の見えにくい場所に設置している。



住宅に近く、道路から鉄塔全体が見えている。

### 3. 鉄塔について

#### (1) 構造

すっきりと見える鋼管柱の採用に努めてください。



鋼管柱



アングルトラス型



三角パイプラーメン型

#### (2) 色彩

背景となる空に溶け込むよう、溶融亜鉛メッキ色（マンセル値 N=7. 0 低光沢処理）を標準とします。塗装する場合は、彩度を抑えるとともに明度の高い色彩（明色）としてください。（アイボリー、ベージュなど）

ただし、背景の大部分が樹林地となるような特別な場合は、明度の低い色彩（暗色）に塗装するか溶融亜鉛メッキ色（マンセル値 N=4. 5）の施工に努めてください。



溶融亜鉛メッキ色 N7



溶融亜鉛メッキ色（低光沢処理）N4.5



ベージュ系塗装



こげ茶系塗装

## 4. 外構について

### (1) 生垣

設備機器類を遮蔽するため、生垣の設置に努めてください。

(市街化調整区域内に位置し、且つ設置後、周囲から機器類等が見えない場所で、今後も将来に亘り周辺の状況に変化がないと想定されるケースにおいては、除きます)

また、生垣は可能な限り、フェンスの外側に設置するよう配慮してください。

(参考) 生垣高さ：1.5～1.8m 程度 本数：2～3本/m 樹種：バコパ等、キョウチクトウなど

### (2) フェンス

景観に配慮したメッシュフェンスとし、色彩は樹木の緑に馴染むよう、茶系を推奨します。



フェンスの外側に生垣を設置し、鉄塔の基礎部分やフェンスを隠している。  
フェンスは茶系。



フェンスの内側に生垣を設置している例  
フェンスが茶系のため、あまり目立ってはいない。



フェンスの内側に植栽しているが、本数が少ないため、目隠しになっていない。  
フェンスもシルバー系で目立つ。



緑系のフェンスが目立つ。  
生垣がないと設備類が見え、景観を損ねる。